



finelll *for Consulting Map*

Hitachi Medical Computer Systems,inc.

操作マニュアル 患者分析機能

技研商事インターナショナル株式会社

別冊

患者分析機能

◆ 患者分析機能	1
1. 動作環境	
動作環境	2
2. プログラムの起動	
プログラムの起動	3
3. 患者分析メニュー	
プログラム起動時	5
メニューが表示されていないとき	5
4. 患者データ取込み	
患者データ取込み	6
5. 来院理由別患者ポイント表示	
来院理由別患者ポイント表示	9
6. 来院理由別患者円グラフ表示	
来院理由別患者円グラフ表示	11
7. 紹介した/された集計色塗り	
紹介した/された集計色塗り	13
8. 年齢別患者集計色塗り	
年齢別患者集計色塗り	14
9. Excel レポートの作成	
Excel レポート出力	16
10. 分析地(自院)の作成方法と変更方法	
地図から指定する場合	20
地名から指定する場合	21
分析地の変更方法(位置移動)について	23

目 次

分析地の変更方法(名称変更)について.....	25
商圈(来院圏)の作成方法	26
商圈(来院圏)の作成方法(トラベルタイム).....	28
分析地の設定を保存する.....	29
11. フォルダ構成	
フォルダ構成.....	30
12. Excel レポートの来院理由文言変更	
Excel レポートの来院理由文言変更.....	31

◆患者分析機能

『MarketAnalyzer』の患者分析機能について説明致します。

この機能は患者データを使用して患者の分析ができる機能です。以下の順に説明いたします。

1. 動作環境
2. プログラムの起動方法
3. 患者分析メニュー
4. 患者データ取込み
5. 来院理由別患者ポイント表示
6. 来院理由別患者円グラフ表示
7. 紹介した/された集計色塗り
8. 年齢別患者数集計色塗り
9. Excel レポートの作成
10. 分析地(自院)の作成方法と移動方法
11. フォルダ構成
12. Excel レポートの来院理由文言変更



1. 動作環境

操作を始める前に、本アプリケーションを正常に動作させるために必要な環境を、ご確認ください。患者分析機能で対応する動作環境は、次の通りです。

対応 OS	Microsoft® Windows® XP SP3 以降 Microsoft® Windows® VISTA SP2 以降 Microsoft® Windows® 7 ※64bit 対応	
CPU	Microsoft® Windows® XP Microsoft® Windows® VISTA & 7	Intel® Pentium® 4 2GHz 以上 Intel® Core 2 Duo 2GHz 以上
必要メモリ	Microsoft® Windows® XP Microsoft® Windows® VISTA & 7	1GB 以上 2GB 以上
HDD	3.5GB 使用。空き容量 8GB 以上を推奨	
ディスプレイ	解像度 1024×768 ピクセル以上 フルカラー	
その他	DVD-ROMドライブ (※システムインストール時に必要) USB ポート (※ハードウェアプロテクトキーで使用) Excel2003～Excel2010 (※Excel レポート自動作成機能で使用)	

※ インストール時には OS の管理者権限が必要です。

※ 利用時にはインストール後にドライブ直下に生成される MarketAnalyzer というフォルダに、利用するユーザーアカウントでの書き込み権限が必要です。

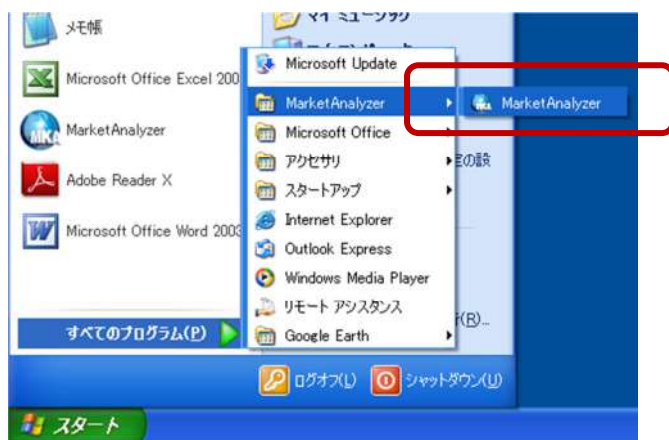
2. プログラムの起動

患者分析機能を使用するために、プログラムを起動します。

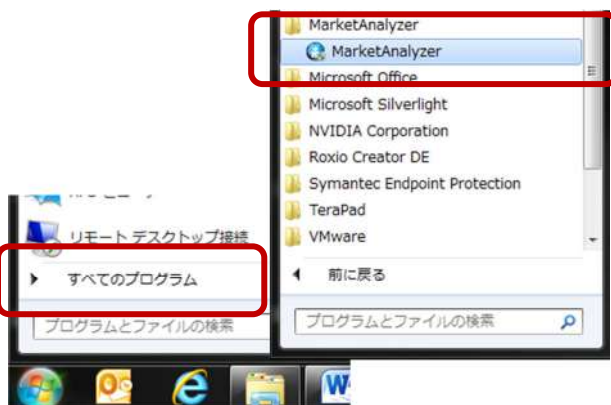
▶ プログラムの起動

[スタート]メニューー [すべてのプログラム]ー[MarketAnalyzer]ー[MarketAnalyzer]をクリックします。

WindowsXP の場合



Windows7 の場合



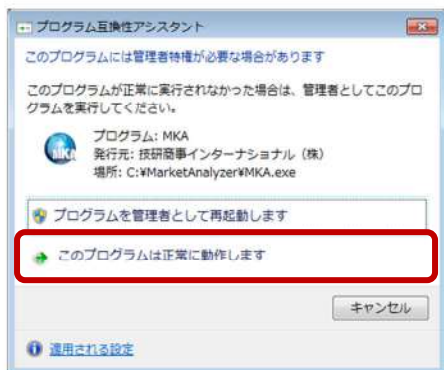
プログラムが起動します。



ポイント

MarketAnalyzer 終了時の[プログラム互換性アシスタント]について

Windows® VISTA & 7 では、MarketAnalyzer 終了時に以下のような**プログラム互換性アシスタント**画面が表示されることがあります。



その場合、特に問題がなければ「**このプログラムは正常に動作します**」を選択してください。（次回以降は表示されなくなります。）

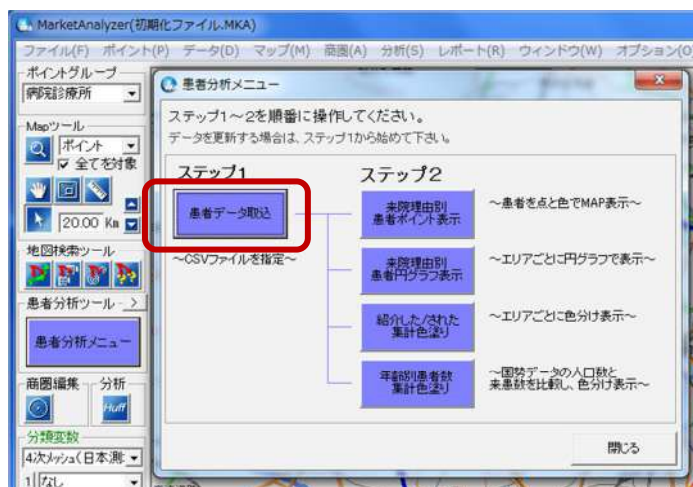


3. 患者分析メニュー

患者分析メニューを表示します。基本的な分析はこのメニューから行います。

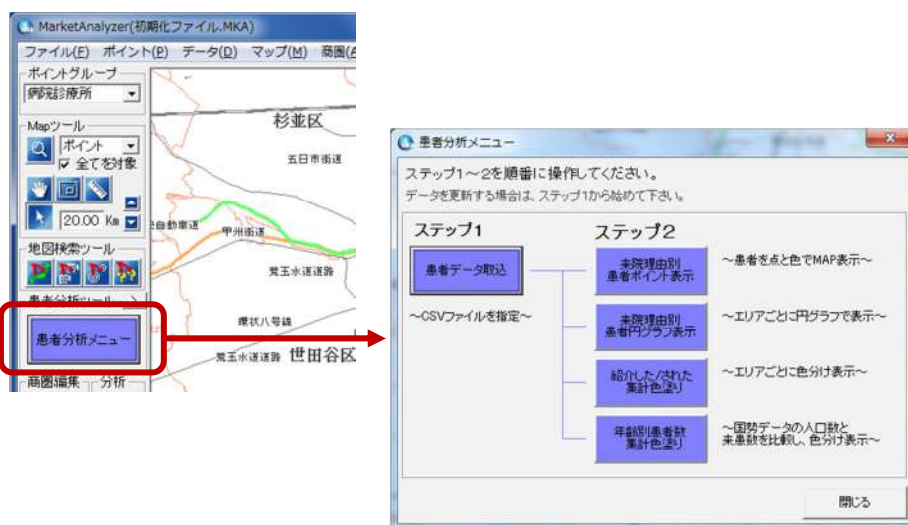
▶ プログラム起動時

(1) 自動で[患者分析メニュー]が表示されます。



▶ メニューが表示されていないとき … [患者分析ツール] - [患者分析メニュー]

(1) [患者分析ツール]-[患者分析メニュー] ボタンをクリックします。

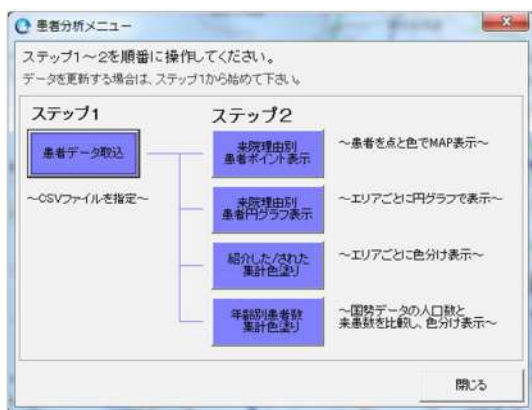


4. 患者データ取込み

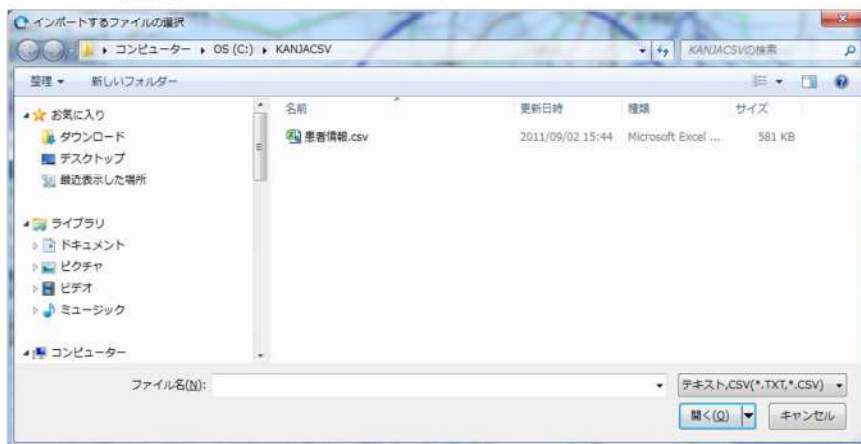
分析は大きく2つのステップから成ります。いずれの分析を行うにも、まずステップ1の患者データ取込みが必要となります。

▶ 患者データ取込み

(1) **【患者データ取込み】** ボタンをクリックします。



(2) **【ファイル選択】** 画面が表示されます。



ポイント

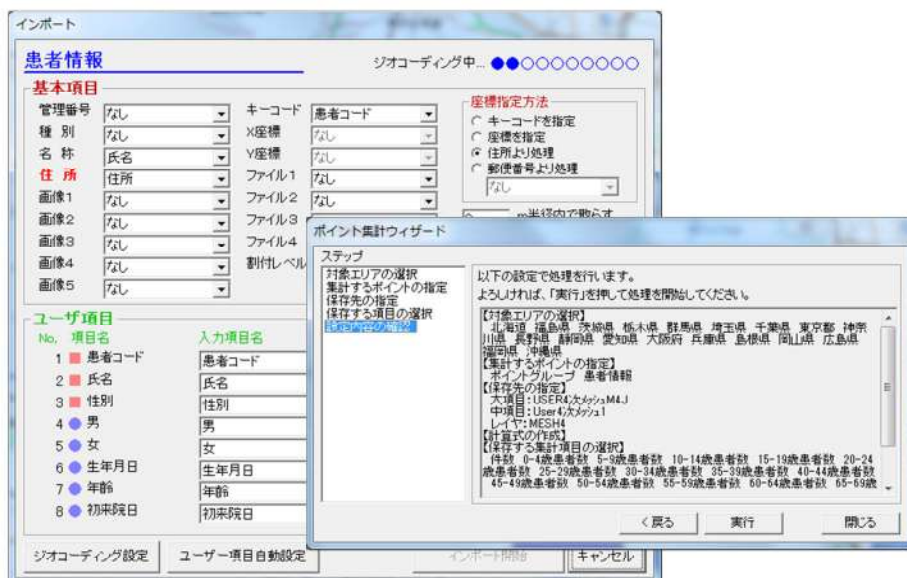
ファイル選択で表示されるフォルダについて

デフォルトでは C:\KANJACSV が表示されます。事前にフォルダが存在するかご確認ください。

(3) 患者情報.csv ファイルを選択し、[開く] ボタンをクリックします。



(4) 患者データ の取込みが開始されます。



取込み中に表示される画面について

ポイント

取込み処理中にいくつかの画面が自動で表示されますが、これはシステムが取込み処理を行っているためです。何も操作せずにそのまましばらくお待ちください。

(5) **患者データ** の取込みが完了します。

ジオコーディング結果		
全件数	:	1227 件
都道府県レベル	:	0 件
市郡レベル	:	0 件
市区町村レベル	:	0 件
大字レベル	:	14 件
町丁目レベル	:	7 件
番地レベル	:	60 件
号レベル	:	1118 件
枝番レベル	:	0 件
該当住所なし	:	28 件
大字ファイルなし	:	0 件



【ジオコーディング結果】について

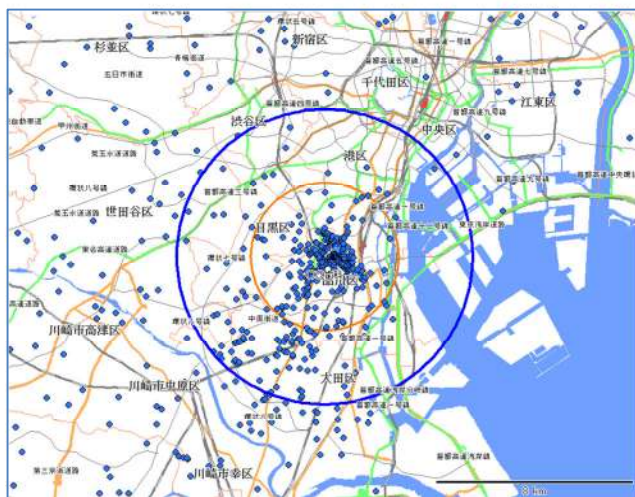
ポイント

ジオコーディングとは住所を座標情報に変換する処理のことです。患者データの取込みが完了すると、このジオコーディングの結果が表示されます。

たとえば、住所が「東京都千代田区霞が関」までしかない、あるいはそれ以降の住所が間違っている場合、この住所は「大字レベル」になります。

住所が「東京都千代田区霞が関 3 丁目」あるいは「東京都千代田区霞が関 3」であれば、この住所は「町丁目レベル」になります。

(6) 地図上に**患者データ**(青丸の点)が表示されます。

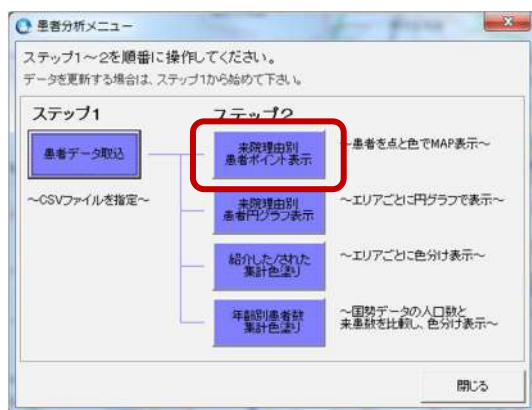


5. 来院理由別患者ポイント表示

ステップ1の患者データ取込みが終わりましたら、ステップ2の分析が可能となります。ここでは、来院理由別患者ポイント表示について説明します。

▶ 来院理由別患者ポイント表示

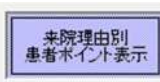
(1) [来院理由別患者ポイント表示] ボタンをクリックします。



(2) 患者ポイントが来院理由別のシンボルで表示されます。



シンボル表示を解除するには、もう一度同じボタンを押します。





シンボル表示中に表示される画面について

ポイント

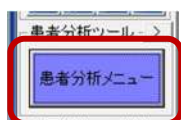
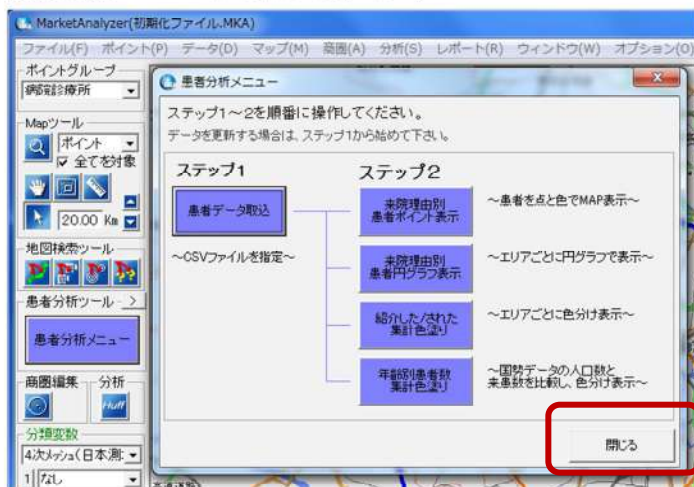
シンボル表示中に以下の画面が表示されますが、これはシステムが処理を行っているためです。**何も操作せずにそのままお待ちください。**



地図が隠れて見えにくい場合

ポイント

シンボル表示を行うと[患者分析メニュー] が邪魔になる場合がありますが、その時は[患者分析メニュー] を閉じてください。



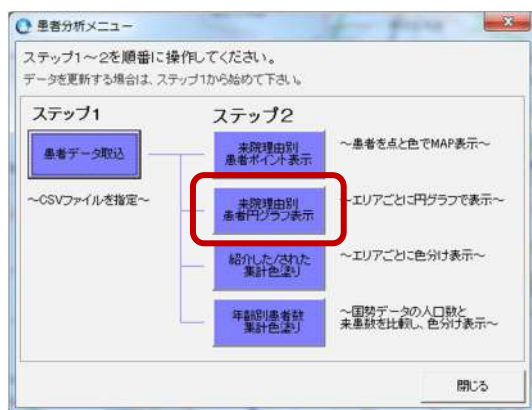
←再びメニューを表示するにはこのボタンをクリックします。

6. 来院理由別患者円グラフ表示

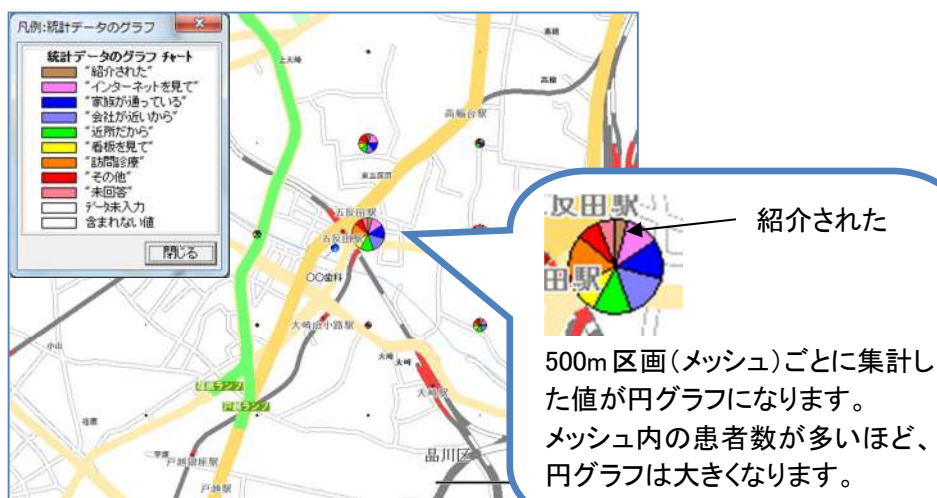
ステップ1の患者データ取込みが終わりましたら、ステップ2の分析が可能となります。ここでは、来院理由別患者円グラフ表示について説明します。

▶ 来院理由別患者円グラフ表示

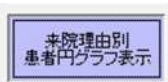
(1) [来院理由別患者円グラフ表示] ボタンをクリックします。



(2) 患者が来院理由別の円グラフで表示されます。




円グラフ表示を解除するには、もう一度同じボタンを押します。





円グラフが小さくて見えにくい場合

ポイント

円グラフ表示を行った後、円グラフが小さくて見えない場合があります。これはマップ高(地図の上から下までの距離)が大きすぎるためです。その場合は、Map ツールの  ボタンを押します。押すたびに地図が2倍に拡大(マップ高は小さく)されます。



←マップ高を大きくするにはこのボタンをクリックします。



円グラフ表示中に表示される画面について

ポイント

円グラフ表示中に以下の画面が表示されますが、これはシステムが処理を行っているためです。**何も操作せずに**そのまましばらくお待ちください。

※患者が存在する都道府県の数が多いほど、処理に時間がかかります。



地図が隠れて見えにくい場合

ポイント

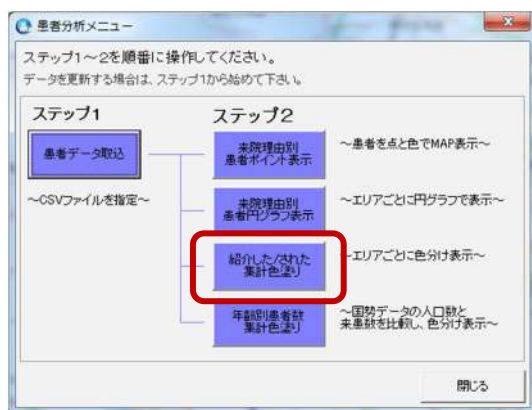
円グラフ表示を行うと[患者分析メニュー] が邪魔になる場合がありますが、その時は[患者分析メニュー] を閉じてください。再びメニューを表示するには、[患者分析メニュー] ボタンをクリックしてください。

7. 紹介した/された集計色塗り

ステップ1の患者データ取込みが終わりましたら、ステップ2の分析が可能となります。ここでは、紹介した/された集計色塗りについて説明します。

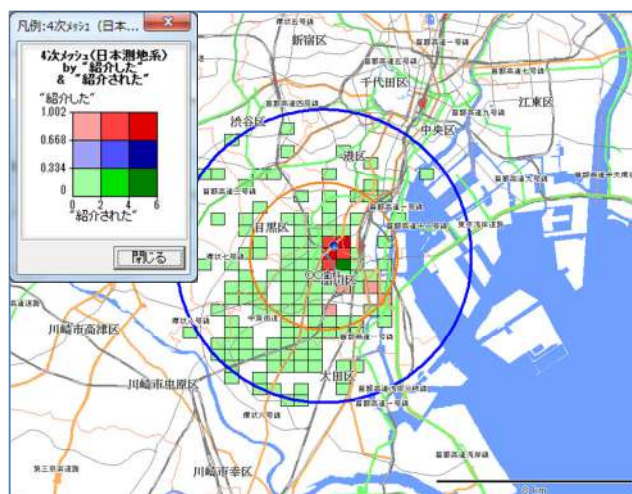
▶ 紹介した/された集計色塗り

- (1) [紹介した/された集計色塗り] ボタンをクリックします。



- (2) 紹介した患者の数と、紹介された患者の数に応じて、500m 区画(メッシュ)ごとに色塗りされます。

紹介した患者の数も紹介された患者の数も少ないと薄い緑、紹介した患者の数が少なく、紹介された患者の数が多いと濃い緑、両方多いと濃い赤、など、両者の数の関係が色によって分かります。

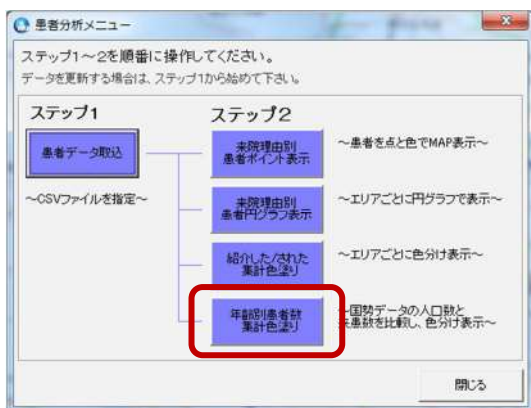


8. 年齢別患者集計色塗り

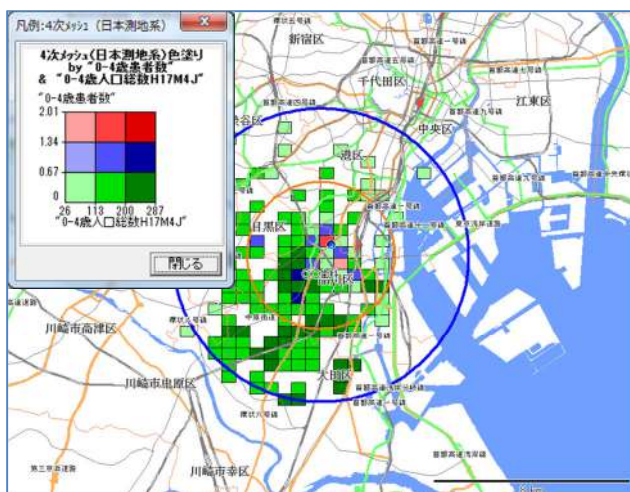
ステップ1の患者データ取込みが終わりましたら、ステップ2の分析が可能となります。ここでは、年齢別患者数集計色塗りについて説明します。

▶ 年齢別患者数集計色塗り

- (1) [年齢別患者数集計色塗り] ボタンをクリックします。



- (2) 年齢別の患者数と、年齢別の人口に応じて、500m 区画(メッシュ)ごとに色塗りされます。



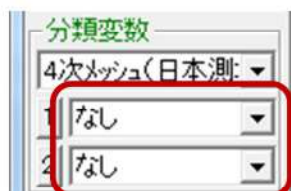
- (3) デフォルトでは0-4歳の患者数と0-4歳の人口で色塗りされます。変更したい場合には、分類変数の項目を変更します。



色塗りを解除したい場合

ポイント

色塗りを解除したい場合は、2つの分類変数を両方とも「なし」を選択してください。
「なし」はリストの一番上にあります。



9. Excel レポートの作成

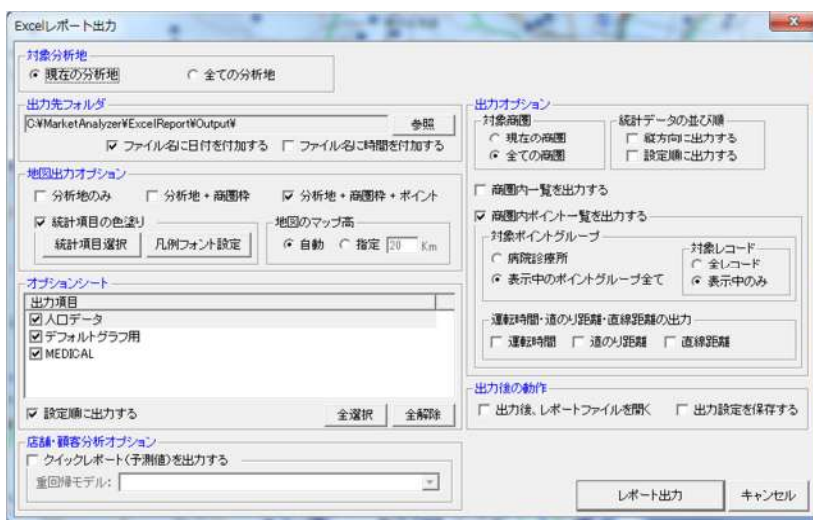
患者データ取込み後、Excel レポートを作成することができます。ここでは Excel レポートの作成方法について説明します。

▶ Excel レポート出力 … [レポート] - [Excel レポート出力]

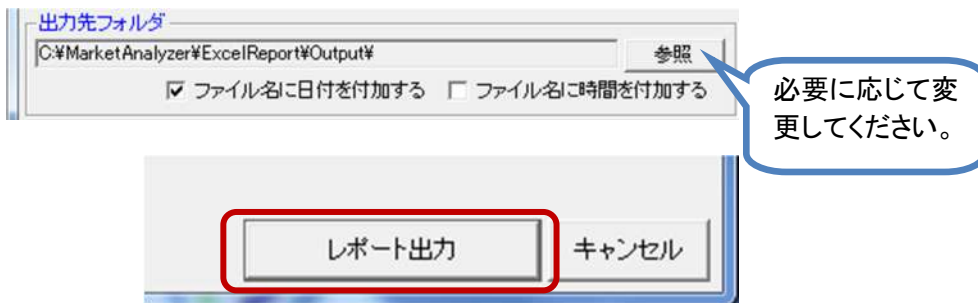
- (1) [レポート] - [Excel レポート出力]メニューをクリックします。



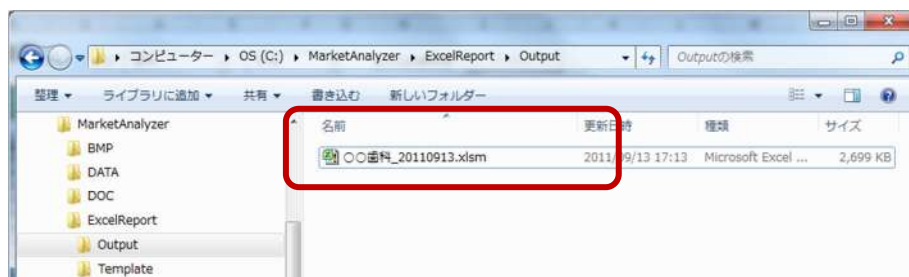
- (2) [Excel レポート出力] 画面が表示されます。



- (3) [出力先フォルダ] を確認し、[レポート出力] ボタンを押します。



(4) [出力先フォルダ] に Excel レポートが出力されます。



▶ Excel レポートの内容について

Excel レポートの内容には大きく 5 つあります。

- 1) 推計患者数シート
来院圏内の推計患者数が表示されます。
- 2) 傷病別集計シート
来院圏内の、傷病別の推計患者数が表示されます。
- 3) 人口ピラミッドシート
年齢別の人口ピラミッドと来院患者数の比率が表示されます。
- 4) 来院理由シート
来院理由別の患者数ピラミッドと人口構成比が表示されます。
- 5) ポイントシート
自院を中心とした地図が表示されます。

1) 推計患者数シート

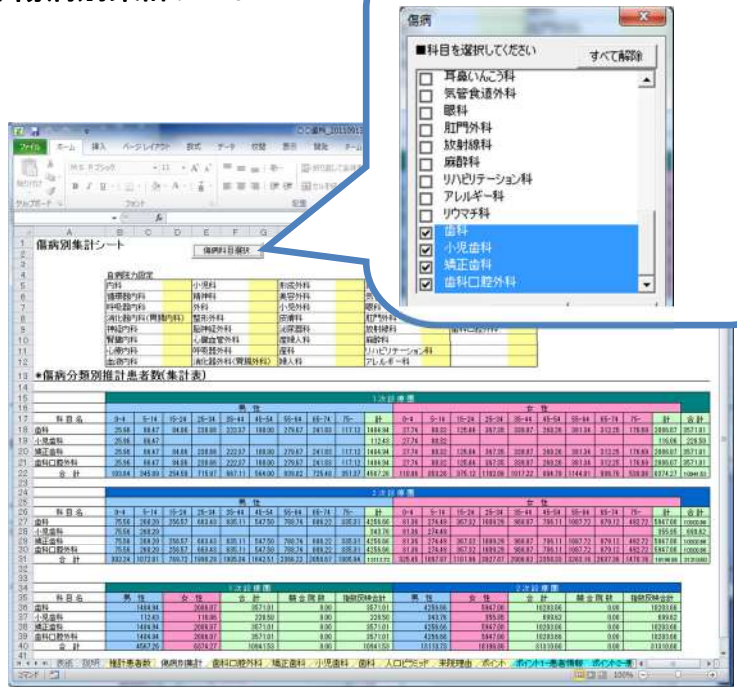
区分は「歯科」を選択します。

区分: 歯科

来院区分	性別	推計患者数	来院患者数	来院比率
一次来院	男性	1,000	1,000	1.00
	女性	1,000	1,000	1.00
	合計	2,000	2,000	2.00
	0-4	100	100	0.05
	5-9	100	100	0.05
	10-14	100	100	0.05
	15-19	100	100	0.05
	20-24	100	100	0.05
	25-29	100	100	0.05
	30-34	100	100	0.05
二次来院	男性	1,000	1,000	1.00
	女性	1,000	1,000	1.00
	合計	2,000	2,000	2.00
	0-4	100	100	0.05
	5-9	100	100	0.05
	10-14	100	100	0.05
	15-19	100	100	0.05
	20-24	100	100	0.05
	25-29	100	100	0.05
	30-34	100	100	0.05
三次来院	男性	1,000	1,000	1.00
	女性	1,000	1,000	1.00
	合計	2,000	2,000	2.00
	0-4	100	100	0.05
	5-9	100	100	0.05
	10-14	100	100	0.05
	15-19	100	100	0.05
	20-24	100	100	0.05
	25-29	100	100	0.05
	30-34	100	100	0.05

2) 傷病別集計シート

科目は「歯科」を選択します。

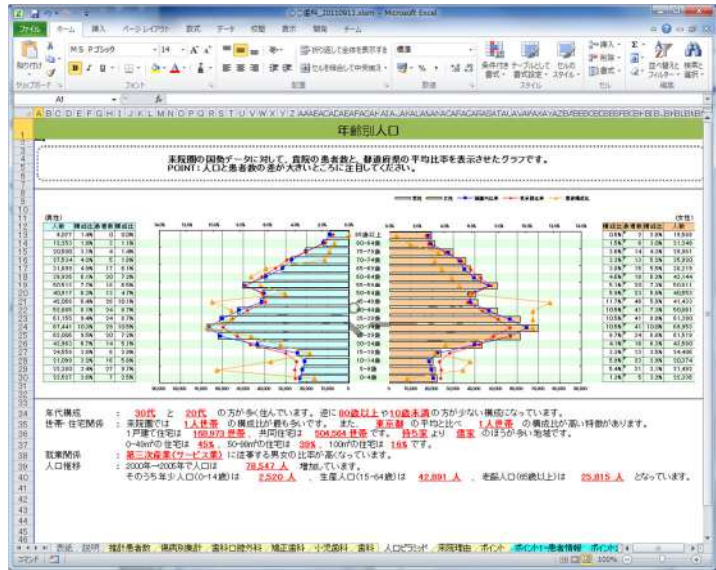


科目を選択してください

すべて解除

- ☐ 耳鼻いんこう科
- ☐ 気管食道外科
- ☐ 眼科
- ☐ 肛門外科
- ☐ 放射線科
- ☐ 麻酔科
- ☐ リハビリテーション科
- ☐ アレルギー科
- ☐ リウマチ科
- ☒ 歯科
- ☐ 小児歯科
- ☐ 矯正歯科
- ☐ 歯科口腔外科

3) 人口ピラミッドシート





10.分析地(自院)の作成方法と変更方法

ここでは、事前に分析地(自院)を作成して保存する方法、および変更する方法について説明します。通常、分析地は初回に一度設定するのみです。

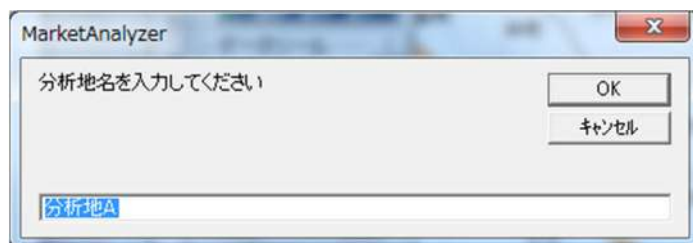
▶ 地図から指定する場合

- (1) 分析地(自院)を作成したい場所で地図を右クリックします。



- (2) メニューから[分析地作成]をクリックします。

- (3) 分析地名を入力するダイアログが表示されます。



- (4) 自院名を入力して、[OK] ボタンを押します。

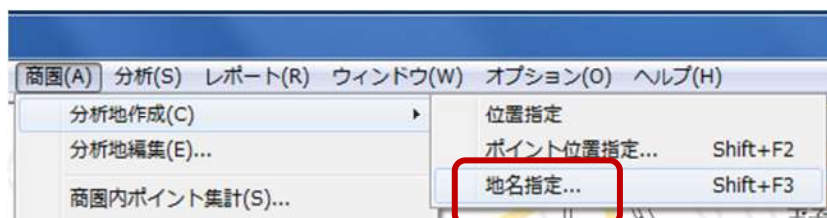


(5) 分析地(自院)が作成されます。

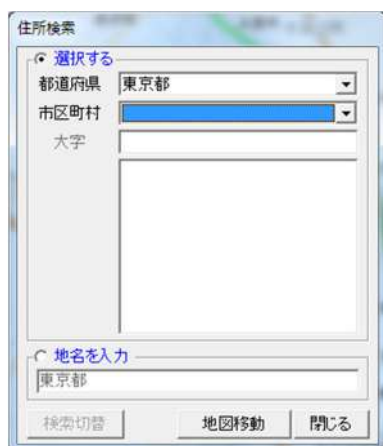


▶ 地名から指定する場合 … [商圈] - [分析地作成] - [地名指定]

(1) メニューから[商圈] - [分析地作成] - [地名指定] をクリックします。



(2) 住所検索画面が表示されます。



- (3) 該当住所を選択していきます。



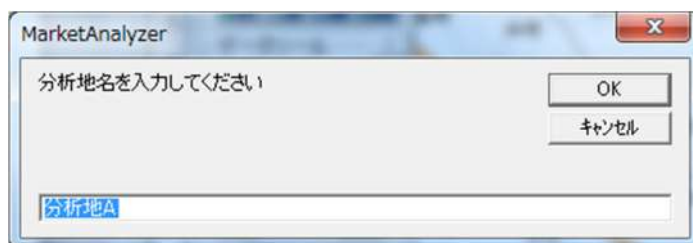
住所を直接入力したい場合

ポイント

住所を直接入力したい場合は、地名を入力を選択し、テキストボックスに直接住所を入力してください。

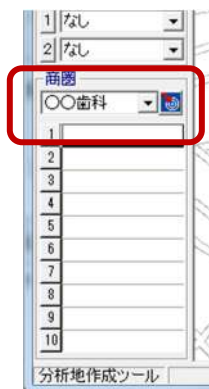
- (4) **[地図移動]** ボタンを押します。地図が指定した場所に移動することを確認します。

- (5) **【閉じる】** ボタンを押します。分析地名入力ダイアログが表示されます。
自院名を入力して、**【OK】**ボタンを押すと、分析地が作成されます。



▶ 分析地の変更方法(位置移動)について

- (1) MarketAnalyzer の商圈メニューで、自院が選択されていることを確認します。



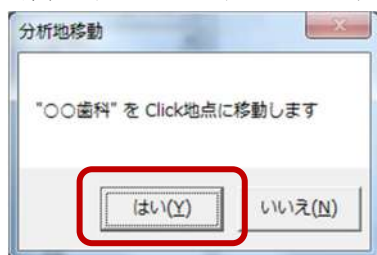
- (2) 商圈編集メニューで、分析地作成ツールが押されていることを確認します。



- (3) 地図上でキーボードの CTRL を押しながら、移動先の場所をクリックします。



- (4) 確認メッセージが表示されます。[はい]を押します。

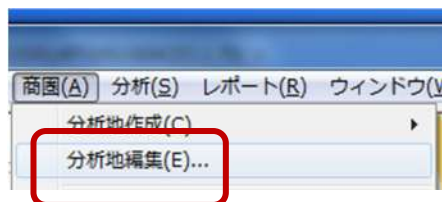


- (5) 指定した位置に分析地(自院)が移動します。



▶ 分析地の変更方法(名称変更)について … [商圈] - [分析地編集]

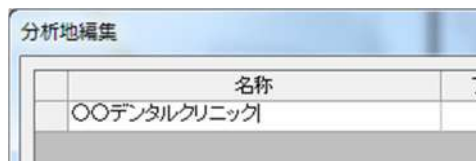
- (1) メニューから[商圈]-[分析地編集] をクリックします。



- (2) [分析地編集] 画面が表示されます。



- (3) 名称を変更します。



- (4) [確定] ボタンを押すと、分析地名が変更になります。



▶ 商圈(来院圏)の作成方法



“商圈の作成する場所”について

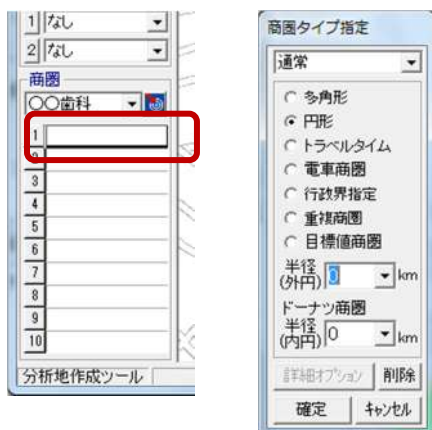
注意！ ・ 商圈は必ず 1 次と 2 次にそれぞれ作成してください。作成しない場合、Excel レポートを出力した時に患者情報等が正常に反映されません。



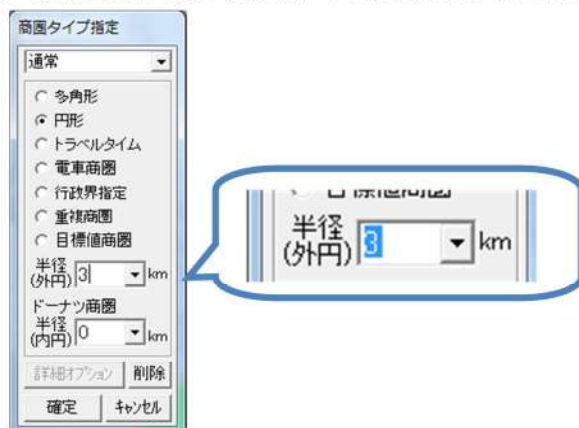
(1) MarketAnalyzer の 商圈メニューで、自院が選択されていることを確認します。



(2) 1 次商圈をクリックすると、[商圈タイプ指定] 画面が表示されます。



(3) 円商圏を作成する場合、半径(km)を入力して確定ボタンを押します。




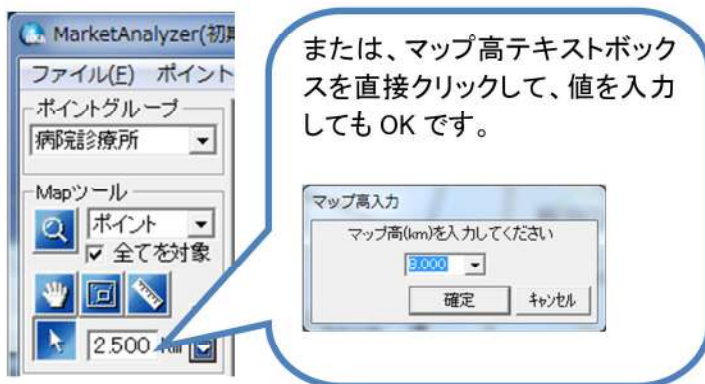
(4) 地図上に指定した半径の円商圏(来院圏)が表示されます。



商圏が見えない場合

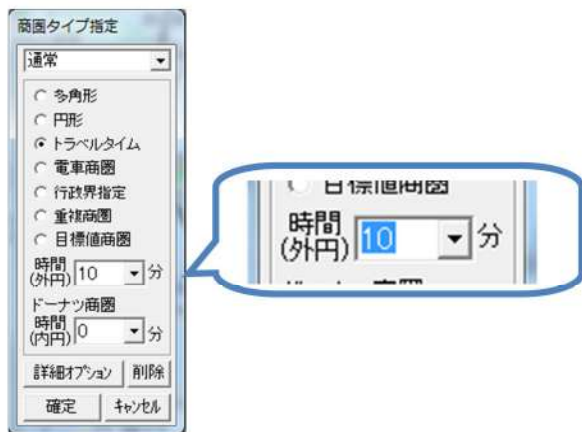
ポイント

商圏を作成したのに商圏が表示されない場合、地図のマップ高(地図の上から下までの距離)が小さすぎる場合があります。その場合は、Map ツールの  ボタンを押します。押すたびに地図が 2 倍に縮小(マップ高は大きく)されます。



▶ 商圏(来院圏)の作成方法(トラベルタイム)

- (1) トラベルタイム商圏を作成する場合、オプションから[トラベルタイム]を選択し、時間(分)を入力して確定ボタンを押します。



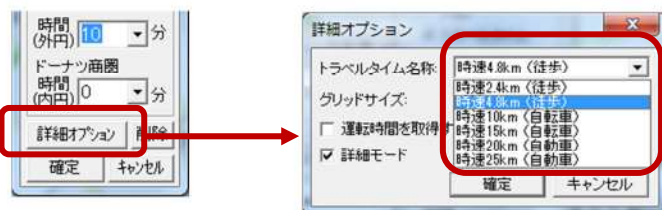
- (2) 地図上に指定した時間のトラベルタイム商圏(来院圏)が表示されます。



トラベルタイムのパラメータを変更する場合

ポイント

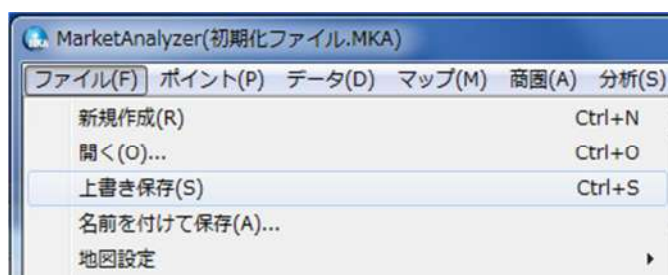
詳細オプションをクリックして、コンボボックスから任意の時速を選択してください。



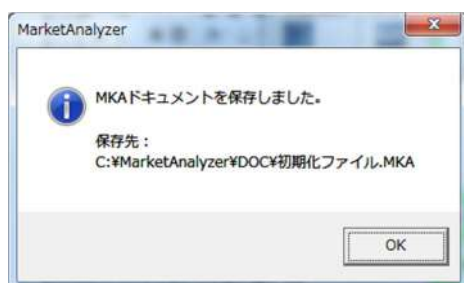
▶ 分析地の設定を保存する … [ファイル] - [上書き保存]

設定した分析地・商圈を、次回の MarketAnalyzer 起動時も保持するためには、MKA ファイルとして保存する必要があります。

- (1) メニューから、**[ファイル]-[上書き保存]** をクリックします。



- (2) ファイルが保存されました。

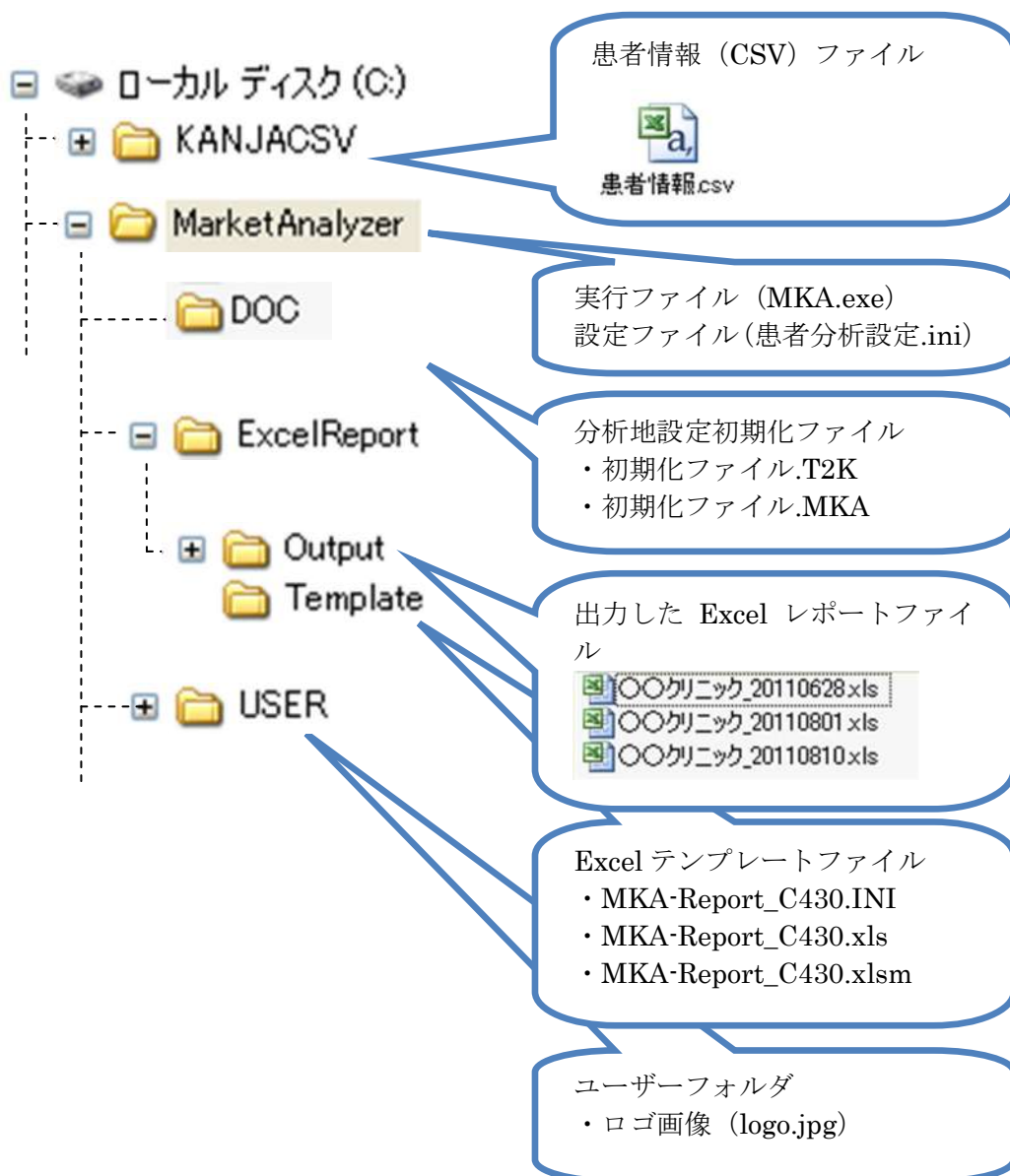


11.フォルダ構成

ここでは、システムのフォルダ構成について説明します。

▶ フォルダ構成

C:¥ドライブにインストールした場合の、主なフォルダ構成は以下のようになります。



12.Excel レポートの来院理由文言変更

ここでは、Excel レポートで来院理由の文言変更を行う方法について説明します。

▶ 患者数集計シート

MarketAnalyzer¥ExcelReport¥Template フォルダに、「MKA-Report_C430.xls」(Excel2003 用)または「MKA-Report_C430.xlsm」(Excel2007 以降用)があります。

このテンプレートファイルを開き、「患者数集計」シートの B68 セルから、来院理由 1～10 に対応する文言を定義しているので、ここを変更して保存してください。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
1		総数	総数 (比率)	来院理由										上限	描画	レン	最頻
2				1	2	3	4	5	6	7	8	9	他	年齢	位置	シ調	理由
60	80-84歳	0	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	85	85		1
61	85歳以上	0	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	200	9.0		1
62		0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
63	男女最大																
64	患者数	0	0.0%														
65	人口込	0	0.0%														
66																	
67	来院理由	ポイントデータから取得する例															
68	1	紹介された															
69	2	インターネットを見て															
70	3	家族が通っている															
71	4	会社が近いから															
72	5	近所だから他															
73	6	看板をみて															
74	7	訪問診療															
75	8	その他															
76	9	未回答															
77	10	他															
78																	
79																	
80																	
81																	
82																	
83																	

個数は、1～10 の固定となっています。

この文言が、「来院理由」シートのグラフの凡例と「来院理由分析」の文章に使用されます。

「来院理由分析」には、現在もっとも長い「インターネットを見て」に合わせています。現在はセルを結合して「縮小して全体を表示する」書式にしているため文言が長くなっても表示はされますが、文言の長さに応じてこの部分の結合セルの長さも調整することをお勧めします。対象は、「来院理由」シートの「39 ～ 40 行目」「42 行目,44 行目の Z 列以降」の 2 箇所です。